

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	文化財課	職	課長	氏名	田村 彰英
評価者	組織	文化財課		課長		田村 彰英

施策1	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
	文化財の保存と活用	1 国・県指定文化財等件数	件	850 (H37)	817 (H28)	835 (H29)	B
		2 輪島漆芸技術研修所卒業生	人	850 (H29)	821 (H28)	846 (H29)	
		3 埋蔵文化財センター入館者数	人	17,580 (H29)	19,855 (H28)	18,743 (H29)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	有形文化財等の保存と活用	国・県指定文化財等件数	件	850 (H37)	817 (H28)	835 (H29)	有形文化財等保存・活用事業 ※1	県民・所有者等	109,062	108,555	B	継続
	課題2	埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用	埋蔵文化財センター入館者数	人	17,580 (H29)	19,855 (H28)	18,743 (H29)	埋蔵文化財発掘調査促進・公開・活用事業 ※2	県民	1,325,540	1,349,087	A	継続

※1 内訳		
有形文化財保存事業費	62,740	62,590
伝統的建造物群保存地区保存事業費	12,961	12,768
史跡名勝天然記念物保存事業費	24,816	23,924
ふるさと文化財調査推進事業費	1,050	1,050
世界遺産推進事業費	5,595	5,459
いしかわ歴史遺産推進事業費	1,900	2,764
※2 内訳		
県営ほ場整備関連等緊急発掘調査事業費	4,429	4,942
埋蔵文化財緊急発掘調査受託事業費	1,312,640	1,335,674
埋蔵文化財緊急発掘調査費	4,343	4,343
古代ふれあい体験事業費	4,128	4,128

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 有形文化財等保存・活用事業	<b>事業開始年度</b> H8	<b>事業終了予定年度</b>
	<b>根拠法令・計画等</b> 文化財保護法等	

<b>作</b>	組	織	文化財課
<b>成</b>	職	氏名	専門員 畦内 千絵
<b>者</b>	電話番号	076 - 225 - 1841 内線 5624	

**事業の背景・目的**  
本県の歴史・文化を反映した有形文化財等の適切な保存・整備及び積極的な公開・活用を図る。

- 事業の概要**
- 1 有形文化財(建造物、美術工芸品)の保存と活用
    - (1) 老朽化の著しい建造物及び美術工芸品についての保存修理事業
    - (2) 有形文化財の積極的な公開・活用の促進
  - 2 記念物(史跡・名勝・天然記念物)の保存と活用
    - (1) 損傷の著しい記念物についての保存修理事業
    - (2) 史跡等の公有地化や復元整備事業による積極的な整備・活用の促進
  - 3 文化財に係る各種調査の推進及び普及啓発
    - (1) 文化財の価値を明らかにするための各種調査事業
    - (2) 調査成果に基づく文化財指定の促進
    - (3) 世界遺産登録推進等の普及啓発活動への助成
  - 4 文化財の活用による地域活性化
    - (1) いしかわ歴史遺産の認定による文化財の地域活性化への活用の推進

事業内容	事業実施主体	事業費		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
有形文化財保存事業費	所有者	8,122	7,555	62,590
伝統的建造物群保存地区保存事業費	所有者	13,740	13,294	12,768
ふるさと文化財地域活性化事業費	所有者	22,132	20,555	※
史跡名勝天然記念物保存事業費	県・市町・所有者	18,624	17,849	23,924
ふるさと文化財調査推進事業費	市町	750	1,347	1,050
世界遺産推進事業費	キャンペーン推進会議他	5,488	5,243	5,459
いしかわ歴史遺産推進事業費	石川県	1,830	2,797	2,764
<b>合 計</b>		<b>70,686</b>	<b>68,640</b>	<b>108,555</b>

※平成29年度から「ふるさと文化財地域活性化事業費」を廃止し、各事業を「有形文化財保存事業費」と「史跡名勝天然記念物保存事業費」に統合。

**これまでの見直し状況**  
文化財の指定件数の増加や、近年文化財を保存することに加え、積極的な公開・活用が求められることから、財政負担は増加傾向にあるため、国指定文化財(建造物)の補助率の見直しや、補助事業のセレクト、事業期間の平準化等を実施することで、事業の効率的な推進に努めている。

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	文化財の保存と活用				<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	有形文化財等の保存と活用					
	<b>指標</b>	国・県指定文化財等件数			<b>単位</b>	件
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	850	—	—	806	817	835

事業費						
(単位:千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	170,389	73,283	71,269	73,606	109,062
	決算	155,503	69,964	70,686	68,640	108,555
一般財源	予算	129,179	71,533	71,269	73,606	109,062
	決算	116,971	69,235	70,686	68,640	108,555
<b>事業費累計</b>		<b>2,826,645</b>	<b>2,896,609</b>	<b>2,967,295</b>	<b>3,035,935</b>	<b>3,144,490</b>

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	文化財に係る各種調査の推進により、国・県指定文化財等の件数は増加している。(H29: +18件) また、保存修理事業・防災事業・史跡整備事業やいしかわ歴史遺産の認定(H29認定3件 累計11件)により、文化財の保存・活用が進められた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、本県の個性豊かな歴史と文化を保存・継承し、内外に発信するため、文化財の掘り起しに努め、文化財指定を進める。 また、建造物や美術工芸品等の保存修理を推進するため、文化財パトロールなどにより、文化財の保存管理状況を把握し、保存修理事業の計画的な実施に努める。 さらには、これまで以上に文化財の観光誘客や地域振興への活用に努める。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査促進・公開・活用事業	事業開始年度	H10	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	文化財保護法他		

作成者	組織	文化財課			
	職・氏名	課長補佐 松山 和彦			
	電話番号	076 - 225 - 1842 内線 5627			

### 事業の背景・目的

埋蔵文化財の発掘調査等を促進し、適切な保存に努め、調査成果等の積極的な公開・活用を図る。

### 事業の概要

- 1 埋蔵文化財分布調査等の実施
  - (1) 開発事業等に伴う埋蔵文化財分布調査等(資料調査・現地踏査・試掘調査)の実施
  - (2) 現状保存を目的とする範囲・内容・性格等把握のための埋蔵文化財確認調査等の実施
  
- 2 開発事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査等の実施
  - (1) 農業基盤整備事業等に伴う農家負担分に係る発掘調査等の実施
  - (2) 国等の機関が行う開発事業等に伴う発掘調査等の実施
  - (3) 個人住宅建設等に伴う発掘調査等の実施
  
- 3 埋蔵文化財保存・公開・活用事業の実施
  - (1) 埋蔵文化財の保存・公開に係る出土品保存処理の実施
  - (2) 埋蔵文化財の整備・公開・活用事業の実施

事業内容	事業実施主体	事業費		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
県営ほ場整備関連等緊急発掘調査事業 ・埋蔵文化財分布調査等の実施 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施	石川県	3,633	3,374	4,942
埋蔵文化財緊急発掘調査受託事業 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施	石川県	538,660	2,035,516	1,335,674
埋蔵文化財保存事業 ・埋蔵文化財分布調査等の実施 ・埋蔵文化財確認調査等の実施 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施 ・出土品保存処理の実施 ・埋蔵文化財整備公開活用事業の実施	市町	4,343	4,343	4,343
古代ふれあい体験事業 ・埋蔵文化財周知・紹介事業の実施	石川県	4,128	4,128	4,128
合 計		550,764	2,047,361	1,349,087

### これまでの見直し状況

平成10年に石川県埋蔵文化財センター及び財団法人 石川県埋蔵文化財センターを設置・設立し、発掘等体制の強化を図るとともに、平成13年度には「古代体験ひろば」を開設し、調査の促進に併せて、成果等の公開・活用に係る出土品整理等及び体験ひろば等を活用した各種普及啓発事業の推進に努めている。

### 施策・課題の状況

施策	文化財の保存と活用	評価	B
課題	埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用		
指標	埋蔵文化財センター入館者数(年間)	単位	人
目標値	現状値		
	平成29年度	平成25年度	平成26年度
	17,580	16,735	17,932
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	18,469	19,855	18,743

### 事業費

(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費 予算	521,669	555,477	627,898	3,589,535	1,325,540
事業費 決算	461,097	373,151	550,764	2,047,361	1,349,087
一般 予算	8,740	17,432	5,967	8,279	8,711
財源 決算	9,741	20,984	8,443	8,094	8,974
事業費累計	7,836,274	8,209,425	8,760,189	10,807,550	12,156,637

### 評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	埋蔵文化財調査については、新幹線敦賀延伸に伴う発掘調査などの事業者の発掘要望に全て対応したほか、埋蔵文化財センターの入館者数についても、前年度に比して減少したものの平成29年度は18,743人と過去第2番目の入館者数となっており、埋蔵文化財の公開・活用が図られている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、開発事業等に伴う発掘調査を促進するとともに、歴史・文化のシンボルとしての埋蔵文化財の積極的な保存・公開・活用を図るため、発掘成果等の公開及び普及啓発事業を推進する。